

## (1)保存地区の概要

地区名 津山市城東

種別 商家町

面積 約8.1ヘクタール

選定年月日 平成25年8月7日

特徴 津山市城東伝統的建造物群保存地区は、城下町の町人地として出雲往来沿いに発展した町並みで、江戸時代初期に形成された地割がよく残っている。出雲往来に面して、江戸時代の町家を主体として昭和戦前期までに建築された主屋は、切妻、平入りを基本としたつし2階建てとし、出格子窓、虫籠窓、なまこ壁、袖壁を使用した優れた意匠の伝統的建造物が建ち並び、城下町に形成された商家町の歴史的風致をよく伝えている。



## (2)保存地区のあゆみ

昭和61年度(1986) 出雲街道沿い約1.2kmを「町並保存地区」に指定

昭和63年度(1988) 町並保存対策調査

平成元年度(1989)津山市町並保存対策補助事業(独自事業)開始

平成21年度(2009) 「津山市歴史的風致維持向上計画」認定

平成22年度(2010) 城東地区の一部無電柱化 完成

平成25年度(2013) **『重要伝統的建造物群保存地区』選定(8月)**

平成26年度(2014) 修理・修景事業 開始

平成27年度(2015) 城東ポケットパーク 完成

道路の美装化(カラー舗装) 完成

平成28年度(2016) 旧苅田家住宅「重要文化財」の指定

平成30年度(2018) 「津山市歴史的風致維持向上計画(第2期)」認定



# 津山市城東(岡山県)

## (3) 保存地区の保存と整備

### ○修理修景件数

|        | 修理  | 修景 |
|--------|-----|----|
| 平成26年度 | 4棟  | 1棟 |
| 平成27年度 | 7棟  | 1棟 |
| 平成28年度 | 8棟  | 1棟 |
| 平成29年度 | 6棟  | 1棟 |
| 平成30年度 | 4棟  | 0棟 |
| 令和元年度  | 5棟  | 1棟 |
| 令和2年度  | 2棟  | 2棟 |
| 令和3年度  | 6棟  | 1棟 |
| 合計     | 42棟 | 8棟 |

修理前



修理後



修景前



修景後



## (4) 保存地区の活用とまちづくり

### その1 伝統的建造物の活用とまちづくり

- ・重要伝統的建造物群保存地区選定の後、飲食店などの出店増加。
- ・修理事業を経て、もしくは従前の町家を活用しての出店例がある。
- ・出店により地域の賑わいを創出している。
- ・出店の内容によっては、観光モデルルートに紹介されている店舗もある。



空家を活用した喫茶店



旧銭湯を利用したコーヒーショップ



木の工房



宿泊施設



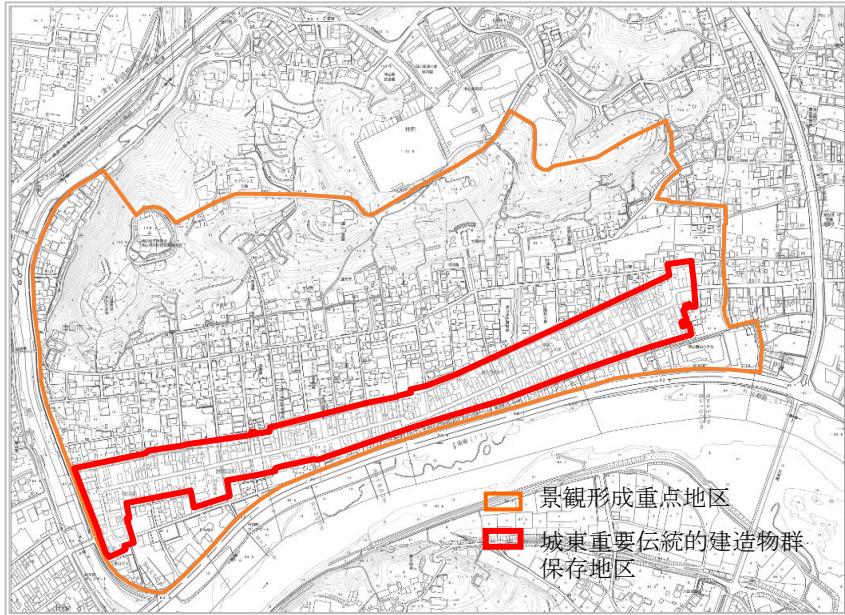
飲食店

# 津山市城東(岡山県)

## (4)保存地区の活用のまちづくり

### その2 周辺への波及効果

城東地区景観重点地区 区域図



市では景観法にもとづく津山市景観条例を定め、保存地区を含む周辺地区を「景観重点地区」に位置づけ、保存地区の周辺をふくめた景観整備を行っている。

## (5)住民等の取り組み

### ●「城東むかし町」の開催

毎年11月に保存地区一体を歩行者天国にして開催される「城東むかし町」は、昔ながらの小道具や昔風のイベントで町人文化を演出し、市民や来場者を楽しませている。

平成元年から実施しており、各種団体や地域住民が一体となって、取り組む恒例行事となっている。

伝統的建造物群の町並みを散策するなど、保存地区の周辺住民も多数参加し、保存地区の良さを再認識することで、地区的継承が図られている。



「城東むかし町」の様子